

～院長コラム～

『高校生のアトピー性皮膚炎に漢方薬が有効だった1例』

16歳、高校1年生の女子です。
幼少の頃からアトピー性皮膚炎にて皮膚科通院中です。
抗アレルギー薬(フェキソフェナジン)を内服しステロイド外用薬、免疫抑制剤の外用薬、保湿剤を使用しています。
昨年(令和1年)10月に当院初診。
1年中皮膚がただれ、かゆみが止まらない状態、冷えが強く、便秘があり硬くて大変、便の臭いも臭い。
母親が漢方薬を希望され受診したようです。
皮膚がカサカサに乾燥しており、とても保湿が効いている感じではありません。
栄養状態は普通、皮膚はところどころ赤紫色、渋紙色をしています。
便秘のことも考え黄耆建中湯(おうぎけんちゅうとう)を処方しました。
2週間後再診。
「黄耆建中湯は甘くて飲めない」とのことで、渋紙色の皮膚を目標に温清飲(うんせいいん)に処方変更しました。
月経時に腹痛が起き、冷えるため当帰芍薬散(とうきしゃくやくさん)を追加しました。
1ヶ月後、「温清飲は飲める、月経時の腹痛は軽かった、おなかか温かい」。
さらに1ヶ月後、「皮膚の調子が良くなってきた」。
抗A剤の内服を勝手に中止していました。
1日2回の内服で調子が良さそうなので、2剤を1日2回の内服で続けることになりました。
母親が笑顔で話をしてくれました。
長期間かかったが皮膚の症状の改善が見られて良かったです。

「こども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード

なかしまこどもクリニック



通信

2020年2月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付 △:乳幼児健診及び予防接種



TEL:058-327-3100

2015年5月11日～
診察・予防接種
インターネット予約
QRコード

